

たかねまちづくり協議会事業評価シート

担 当 部 会 名										
1 事業の位置付け (P l a n)										
事業名	鳥獣被害対策パトロール				事業番号	6-(4)		個別番号		
まちづくり計画書の基本方針	☐ (1) 地域資源調査を行い、その結果を情報発信する。 ☐ (2) 地域の人々が相互の交流と理解を深めるための場や歌をつくる。 ☐ (3) 美化活動を推進し、美しい自然や景観を守る。 ☐ (4) 地域防災の仕組みを具体化させる。 ☐ (5) 支え合いを大切にして、みんなが元気で安心して暮らせる仕組みをつくる。 ☒ (6) 農業振興を図り、若者の定住に繋がる取り組みを行う。							取組みの方向性や実施する事業		
								鳥獣被害対策として定期的にパトロールを行う。		
計画年度 ※	H24		H25		H26		H27		H28	
実施年度 ●	※	●	※		※					

2 事業の実施 (D o)							
事業の内容	概要	有害鳥獣による被害から農作物等を守るため、地域内を定期的にパトロールする。 H24⇒区長と協議し被害状況調査を実施					
	対象						
	事業期間						
	成果指標	なし					
	成果	被害状況や出沒地点を知ることができた。					
	課題	鳥獣被害対策は集落の課題であり、協議会の課題となりえるか再検証が必要。					
経費及び指標	項目	H24	H25	H26	H27	H28(見込)	合計
	経費(千円)	4					
	会議回数	5					
	会議人数	50					
	全体アンケート						
	結果	設問なし					

3 事業の視点別評価 (Check)	
達成度	成果の達成度 ☐ 達成度はかなり高い ☐ 達成度はやや高い ☒ 達成度は低い (上記選択の理由) H24に被害状況調査を実施したが、その後の展開がなかった。
必要性	実施の必要性 ☒ 必要性が高い ☐ 必要性が今後高まっていく ☐ 必要性が低い、ない (上記選択の理由) 実施の必要性は高いが、まちづくり協議会の事業ではない。
	まち協が関与する妥当性 ☐ 関与すべき ☐ 集落で実施すべき ☒ 団体等で実施すべき (上記選択の理由) 全市的な課題であると思われるため、市が仕組み作りを行うべきである。
効率性	対象・手段の妥当性 ☐ 妥当 ☒ 改善の余地あり (上記選択の理由) 最初の導入はよかったが、続かなかった。
	事業費の削減余地 ☒ 削減の余地あり ☐ 削減の余地はない (上記選択の理由) まちづくり協議会が行う事業ではない。
	人員の削減余地 ☒ 削減の余地あり ☐ 削減の余地はない (上記選択の理由) まちづくり協議会が行う事業ではない。
	成果の向上余地 ☐ 余地あり ☐ 余地がある程度ある ☒ 余地はほとんどない (上記選択の理由) まちづくり協議会ができる範囲が限られているため、成果は見込めない。

4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価結果	今後の改革の方向性 ☐ 現状継続 ☐ 見直しのうえで継続 ⇒ 今後の方向性： ☐ 拡大 ☐ 他の事業と統合 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☒ 廃止(発展的解消含む、実施取りやめを含む)
	(上記方向付けの理由) まちづくり協議会が行う事業ではない。
	(改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画)